

対ブータン王国 国別開発協力方針

2023年1月

1 当該国への開発協力のねらい

ブータンは、我が国と1986年に外交関係を樹立して以降、国際場裏でも極めて良好な協力関係にある。ブータンはASEAN・南西アジア・中国の結節地域近くに位置しており、地政学的重要性も高いため、同国の安定と繁栄は地域全体においても重要である。

ブータンは、水力発電による余剰電力の売電による経済成長の一方で、都市と農村の格差が顕在化し、若者の都市流出と失業問題や都市問題が深刻化している。また、人口当たりの医師及び看護師の割合も世界的に低い水準である等、脆弱な医療サービスの改善が課題となっている。

その中で、ブータン政府は、国内総生産（GDP）により表される経済成長のみならず、国民が幸福感を持って暮らせる社会を最終目標とする国民総幸福量（GNH）を基本理念としたバランスある国家開発計画を掲げ、2023年の後発開発途上国（LDC）からの卒業及びその先の更なる自律的かつ持続可能な国づくりに向けて自国の経済社会開発に取り組んでいる。

我が国のブータンに対する支援は、同国の基本理念を尊重しつつ、自由、民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値を共有するパートナーである同国との良好な関係の増進による国際場裏における協力関係の強化のみならず、質の高い成長の推進や「自由で開かれたインド太平洋」の実現、同国の持続可能な開発目標（SDGs）の実現の観点からも意義がある。

2 我が国のODAの基本方針（大目標）：農村と都市のバランスの取れた自立的かつ持続可能な国づくりの支援

GNHの基本理念と民主化定着を念頭に、自立的な経済成長とともに、農村の活性化等を通じて農村部の貧困削減を図り、持続可能な国づくりを支援する。同支援の成果はSDGs（特に目標1（貧困）、目標8（経済成長と雇用）、目標9（インフラ、産業化、イノベーション）、目標10（格差是正）、目標11（持続可能な都市）など）の達成に寄与することから、これらの目標との整合性を考慮しつつ、支援を実施する。

3 重点分野（中目標）

（1）持続可能な経済成長

ブータンの持続可能な経済成長の実現のためには地方部と都市部の格差是正が必要であり、そのために、高等教育分野も含む経済社会・文化基盤整備とともに、農村活性化、行政能力構築、産業振興・経済の多様化に向けた支援を実施する。

(2) 強靱性の強化

ブータンは急峻なヒマラヤ山中にある山岳国であり、気候変動による自然災害等への対応や、地方部から都市部への人口流出による都市環境の悪化が課題となっている。また、コロナ禍ではパンデミックへの対応強化が課題として明らかになった。こうした課題に対し、社会サービスを整備し、強靱性を強化するため、気候変動対策・防災、都市環境問題、保健医療整備への対応を支援する。さらに、ブータンには多種多様な生物が生息するホットスポットも含まれるため、生物多様性保全にも留意する。

4 留意事項

2023年にLDC卒業が見込まれていること等を踏まえ、ブータン政府の債務管理・財政の持続性を確認しつつ、円借款案件の可能性も念頭に置く。

また、デジタル技術の活用やジェンダーへの配慮等、分野横断的な取り組みを進める。

(了)

別紙： 事業展開計画